

滋賀県瀬田川産



このページの写真は、近畿大学水圏生態学研究室より提供頂いた写真です。

北潟湖水系では、まだ生体の確認にまで至っていない。確認後に写真を掲載いたします。

コイ科 ニゴイ属

【全長】約60cm

コウライニゴイ

学名: *Hemibarbus labeo*

分布域

淀川水系以西の本州に分布する。
※ 国外ではアムール川～ベトナム北部。

生息域

河川の中流～下流域、湖などに生息する。

写真はありません。

ニゴイと非常に似るが、下唇にある皮弁が発達すること、鰓耙数が多く、本種は19から25で、ニゴイの12～18より多いことなどで区別できる。

本種は生態学的知見は少なく、不明なことが多い種である。

本県では2020年の北潟湖の環境DNAの調査分析で本種の生息が確認されたが、生体の採集確認には至っていない。生息が確認されると、国内由来の外来種(移入種)となる。

生体を確認していないので飼育経験もありません。

移入種

外来種？

純淡水魚

※ 北潟湖の環境DNA調査で見つかったが、その後の魚類調査では生体の生息を確認出来なかった。日本での分布域に本県は含まれない。国内由来の外来種(移入種)になる。